

南幌町移住体験事業申請書

平成 年 月 日

南幌町長 三好 富士夫 様

申請者 住所 _____
氏名 _____ 印 _____

南幌町移住体験事業について下記のとおり申請いたします。

希望滞在期間	平成 年 月 日 から 平成 年 月 日 まで				
参加者氏名	年齢	職業	続柄	レンタル寝具	
				希望する・希望しない	
				希望する・希望しない	
				希望する・希望しない	
				希望する・希望しない	
住所	〒 _____ (住民票添付)				
電話番号(自宅)			電話番号(携帯)		
メールアドレス					
南幌町での生活体験を行うにあたって質問等ございましたらご記入下さい。					
体験したいプログラム ※希望するプログラムがあれば印を付けて下さい。	<input type="checkbox"/> 施設等の案内(職員)				

- ※ 移住体験事業申請後、決定通知を送付いたしますので、必ず持参下さい。
- ※ 申請者自宅から南幌町までの交通費は自己負担となります。
- ※ アンケート等のご協力をお願いいたします。

様式第1号（第4条関係）

特定目的住宅入居申立書

年 月 日

南幌町長 様

申請者 住所
氏名



南幌町特定目的住宅管理要綱第3条に規定する入居資格について、下記のとおり相違ないことを申し立てます。

記

南幌町営住宅管理条例

第3条第1号に該当	南幌町に住所を有するもの、又は居住しようとする者	する	しない
第3条第2号に該当	現に同居の親族がある者、又は同居しようとする親族のある者	ある	ない
第3条第3号に該当	現に婚姻関係と同様の事情にある者、又はその他婚姻の予約者がある者	ある	ない
第3条第4号に該当	現に住宅に困窮している者	いる	いない
第3条第5号に該当	その他町長が特にみとめた者 (その理由)	はい	いいえ
第3条ただし書	入居申込者及び当該入居申込者と現に同居し、又は同居しようとする親族等が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員でない者		はい

南幌町特定目的住宅管理要綱

第3条第1号に該当	火災又は自然災害により住宅に困窮している者	いる	いない
第3条第2号に該当	新規就農又は農業研修により住宅に困窮している者	いる	いない
第3条第3号に該当	南幌町に定住を希望し住宅に困窮している者	いる	いない
第3条第4号に該当	前各号に定めるもののほか、町長が緊急に入居することを認めた者 (その理由)	はい	いいえ

移住体験事業の実施に係る運用方針

1 対象者

- ・原則 20 歳以上の夫婦とその家族
- ・現在町外に居住し、将来的に南幌町への移住を検討されている方
- ・事業の趣旨を理解し、アンケート調査にご協力いただける方

2 体験期間

- ・原則 2 ヶ月以内

3 手順

- ①電話、メールにて体験事業住宅の空き状況を確認
- ②特定目的住宅入居申立書（様式第 1 号）及び移住体験事業申込書に住民票を添付して郵送により申請
- ③入居許可書を交付
- ④体験当日、役場にて家賃・負担金の納入
- ⑤鍵の交付（鍵預り証の提出）
- ⑥鍵の返却

4 使用者の遵守事項

- ・火気の取扱いに注意すると共に冬期間の水道凍結を防止すること
- ・施設の備え付け備品等を適切に取り扱うこと
- ・施設周りの除雪等を必要に応じて行うなど施設及び施設周りを適正に管理すること
- ・ゴミは、南幌町の分別方法に従い排出すること
- ・施設の使用期間が満了したときは、直ちに当該施設の鍵を返却し施設を原状に復すこと

5 使用者の禁止事項

- ・物品の販売、寄付の要請その他これに類する行為をすること
- ・興業を行うこと
- ・展示会等その他これに類する催しを行うこと。
- ・宗教の普及、勧誘、儀式、その他これに類する行為をすること
- ・近所の住民に迷惑を及ぼす行為をすること。
- ・その他、施設の使用にふさわしくない行為。